



Toyo University supports the Sustainable Development Goals

「食のフロンティアから学ぶ食の未来への架け橋プロジェクト」

# 食の未来研究フォーラム いのち 食と生命の未来



撮影=佐々木隆二

代表作に『パラサイト・イヴ』他 多数  
ミリオンセラー作家来たるー！

## 瀬名 秀明 氏



### 「食と生命の未来 そこから広がる知能と身体の未来」

新型コロナパンデミックによって私たちの生活や環境は大きな変革を迫られ、多くの常識が常識でなくなった。一方で新しい常態は定まらないまま、私たちは何を科学的根拠としたらよいのかさえよくわからず毎日を暮らしている。心と体の健康問題はいつそう注目されるようになったが、社会の分断は進んでいると感じる人も多いようだ。

私たちは食を通して他者とコミュニケーションを深めているが、また食品の有効性や安全性については、必ずしも科学的知見だけでは判断できない複雑な社会的問題に身を置きつつ生活を送っている。食文化は人間の健康問題や死生観と直結しており、しばしば信念バイアスが食と健康の判断を誤らせる。たとえば、以前から見られた特定の健康食品を過剰に批判し、疑似科学扱いしたりする行為も、科学的正当性に基づかない印象批判が拡散していただけであったりと、「科学」と「正義」と「食の健康」が極端なかたちで結びついてしまった事例でもある。演者の専門分野であった細胞小器官ミトコンドリアに関連する健康食品でこの問題は顕著だ。

この講演ではこれからの「総合知」のあり方に触れつつ、とくに健康食品を取り巻く科学と認知バイアスの現場で生じている諸問題を手がかりに、私たちは今後どのようにしてよりよい科学のつきあいができるか、どのような科学的態度や知のあり方が食と生命の未来を豊かに切り拓いてゆけるのか、を考えてゆく。

#### ■ 講師プロフィール

作家。東北大学大学院薬学研究所修了、薬学博士。1995年、『パラサイト・イヴ』で日本ホラー小説大賞を受賞しデビュー。1998年、『BRAIN VALLEY』で日本 SF 大賞を受賞。2021年、『NHK 100 分 de 名著「アーサー・C・クラーク スペシャル ただの空想ではない」』で星雲賞ノンフィクション部門を受賞。『八月の博物館』、共著『知の統合は可能か パンデミックに突きつけられた問い』など小説、科学ノンフィクションの著書多数。

# 2024年 10月4日 金



参加のお申込み

学外者(本学教職員・学生以外)の方はお申込みをお願いします。  
定員に達し次第、申込みを締め切ります。

時間 15:00 ~ 16:30 (開場 14:30)

会場へのアクセス▶

会場 東洋大学 朝霞キャンパス  
2101教室 (2号館1階)

朝霞台駅(東武東上線)北口  
または 北朝霞駅(JR武蔵野線)東口 徒歩10分



【問合せ先】東洋大学朝霞事務課大学院担当 (mlfinkyomu@toyo.jp)



## 東洋大学

<https://www.toyo.ac.jp/academics/gfns/>